



笑顔の門出

成人式特別企画

夢や目標を達成するために
一層の努力と精神的成長を

20歳という節目を迎えて、大人の仲間入りを果たす成人式。総務省によると、2013年中に20歳になった新成人の人口は121万人で、総人口に占める割合の0.95%。過去最少を更新したといえます。邑楽町の新成人は295人で、式典に参加したのは239人でした。

金子正一町長は、「若者らしい高い理想を追求しながら、自分の果たすべき役割をたくましく担ってほしい」と新成人に激励の言葉を贈りました。

新成人を代表して横田恵里さんは、その謝辞で「私たちは本日をもって、社会から大人と認められることになりました。外見では大人かもしれませんが、精神的にはまだまだ未熟です。それぞれが今抱えている夢や目標を達成するためには、これからもその夢に向かって一層の努力をするとともに、精神的に成長しなければなりません。どうか皆さん、今後も私たちのよき先輩としてご指導のほどよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、私たちを今日まで慈しみ、育ててくれた両親をはじめ、地域の皆様に、心から感謝申し上げます」と述べました。



新成人に激励の言葉を贈る
金子正一町長



輝く若人たちの夢希望 My Dream



戸井田瑠璃さん
(水立大黒)



高野諒さん
(西ノ根宮内中島)



矢島里紗さん
(秋妻)



浦野盟さん
(本郷江原)



津久井祥瑛さん
(天王元宿)



横山千尋さん
(店高原)



國井瑞貴さん
(渋谷)



阿部沙代子さん
(水立大黒)



堀越理那さん
(水立大黒)



池田勇太さん
(谷中蛭沼)



村田安澄さん
(大根村琵琶音)



川島悠貴さん
(明野)



金井友彰さん
(谷中蛭沼)



須永莉華さん
(前原)



宮澤良彰さん
(上下西宿)



小林杏奈さん
(前原)



当時、邑楽中学校と邑楽南中学校で、お世話になった
恩師からのビデオレターも放映されました。先生の
新成人に向けたメッセージに、かつての教え子たちの顔
からは、笑みがこぼれていました

色あせない記憶と不変な友情

喜び悲しみを分かち合った仲間との再会。そして、当時の友と奏でる軽快な八木節。一生のうち一度しか味わえない、かけがえのない時が過ぎます。



↑現役の高島子ども八木節隊の子どもたちと、かつて八木節を奏でていた新成人と一緒に演奏
↓八木節を演奏するかつての高島子ども八木節隊のメンバー
(写真左から) 金子織音さん、横田恵里さん、赤坂友梨さん、山崎夏海さん、長山裕次郎さん

成人式実行委員の皆さん 赤坂友梨さん(藤川)㊦、横田恵里さん(藤川)㊦、 島田和輝さん(明野)㊦



成人式の実行委員を務めた三人が口をそろえて言ったのが、「中学校時代の思い出が一番強い」ということ。

赤坂さんは、「恵里とは幼馴染みで、登下校も一緒でした。毎日楽しい時間だった」と語ります。

「中学一年生のときに引っ越してしまった友人と、今でも遊んでいます。やっぱり、何でも話せる親友ができたのは、中学時代」と島田さん。

横田さんは、「私たちにしかできない、みんなが一生忘れられない式典にしたかったです」と笑顔で語ります。

式典に先立ち披露されたのが、高島子ども八木節隊による演奏。横田さんと赤坂さんも八木節隊の卒業生。

二人の卒業生に加え、金子織音さん(谷中蛭沼)、山崎夏海さん(渋谷)、長山裕次郎さん(渋谷)も現役の子どもたちと共演しました。

出演する五人は成人式前日、高島子ども八木節隊の練習場所であるヤングプラザでリハーサルを行いました。

当時を懐かしみながら…。

旅立ち。そして未来へ—。

